



RESTART
Challenge More.

ゆうばり 市議会だより

63号

2024.5



2月8日 ゆうばり小学校6年生との模擬議会を開催しました！

子どもたちからは
こんな質問や提案がありました

- ・各方面に室内遊び場がほしい！
- ・空き家を活用した宿泊施設をつくるのは？
- ・市内信号機のLED化はどのくらい進んでいるの？
いつまでにLED化になるの？



- ・夕張の活性化のため、グルメフェスを開催しては？
- ・本町方面にお店をつかってほしい！
- ・バスの定期券を土日祝日も利用したい。
- ・子どもたちが1回100円程度で乗れる市内循環バスを！

買い物弱者への対策を！ 生活館等の備品修繕や 補助金拡充を！

櫻井 本町地域のスーパー「かね安」が突然の休業となり、生活に不安を抱く買い物弱者が増えている現状を受け、市が現在までどのような対策を行ったかを伺う。

市長 商工会議所と連携し、市内商店等を対象に店舗を訪問、複数回の聞き取り調査を実施。現在の運営状況の他、買い物にお困りの方々に対してどのような協力が可能かを聞き、少しでも協力できる体制をお願いした。調査後は、各店舗のサービス内容をまとめ、商工会議所を通じてチラシの作成、昨年末に各町内会への配布及び新聞折込を行い、市民へ周知した。

櫻井 遠くに足を運べない高齢者のためにも、近隣の集会所等を利用した移動市場のようなものが有効と考えるが、業者へ出店ができる旨の広報をするなどの働きかけが可能かを伺う。

市長 既に複数の市内事業者が移動販売や宅配事業を実施しており、事業内容の重複が考えられる。

また、市内事業者からは、「既存の店舗を運営する以上の事業拡大は難しい。」との意見もあり、現実的な実施



櫻井 暁



が困難な移動市場のようなものを市が後押しすることは難しい。一方、新たに事業を始める意欲のある事業者を把握しており、持続的な事業活動が叶うよう、必要な情報提供等のサポートをしていく。

櫻井 本市では、生活館等の指定管理者も高齢で、除雪や草刈りなどの管理業務もままならず、コロナ禍で葬儀や行事の収入が減り、現行の補助金利用でも財政的に厳しく返上を考慮する地域もある。現行の補助金が適正か、管理者側と相談する機会を設けた上で備品の修繕や補助金の拡充をすることをお考えがあるか伺う。

市長 修繕の規模に応じて管理者と市、双方協議の上、適切に対応している。補助金はそれぞれ適正な基準に基づき補助額を算定しており、拡充については考えていない。

櫻井 将来的な生活館の在り方を直営へ見直していく必要があると考えるが市長の見解を伺う。

市長 市の直営による生活館等の管理運営は、考えていない。

待ったなしのごみ処理

工藤 富野じん芥埋立処分地施設が令和8年度中に満杯になる見込みから、ごみの減量に取り組む必要があると考えるが市長の見解を伺う。

市長 埋立処分地の延命化にあたり、かさ上げ工事によって埋立容量の増加を図るだけでなく、埋立るごみの減量も不可欠であり、ごみの分別に関しては市民の皆様にご協力頂かなければならない。

改めてごみの分別ルールや減量化の必要性について啓発に努めていく。

工藤 リサイクルごみの減少の割合が大きいが、一般ごみに混ぜて出されているケースも多いと思う。一層の啓発が必要ではないか。

市長 一般ごみや搬入ごみの中にはリサイクルできる資源が混入しているケースが見られる。また、分別収集しても汚れが付着している場合は、埋立処分地に埋立てざるを得ない状況となる。正しい分別が埋立処分地の延命化に繋がるので、一層の啓発に努めていく。

工藤 夕張市が単独でごみ処理を続けるには限界があると考えますが、他自治



工藤 政則



体とどのような連携を考えて進めていくのか伺う。

市長 本市では可燃ごみ、不燃ごみの分別をせず、埋立処分している。かさ上げをしてもいずれは埋立地が限界を迎えるため、単独で処理し続けていくことは難しいと考えている。

他自治体との連携は、夕張市で発生する可燃ごみを他自治体の焼却施設で焼却処分することを考えている。

工藤 5年後には新処理へ移行すると説明されているが、スケジュールを伺う。

市長 今後、連携先となる自治体との協議のほか、可燃ごみ、不燃ごみを分別して収集する必要があることから、分別方法の変更の周知、収集事業者と収集方法の協議、可燃ごみの一時保管場所など、協議検討事項は多岐にわたる。

災害廃棄物を想定し、埋立容量に余力を残して新処理への移行と考えた場合、早い段階で「広域処理」に向けた今後の方針を示し、具体的な協議・検討を進めていかなければならないと考えている。

収納対策の徹底を

千葉 勝



千葉 令和6年度水道事業会計予算の編成方針について伺う。

市長 人口減少などに伴い、今後、営業収益が減少していくことが見込まれ、将来、資金が枯渇するおそれがあります。このため、予算編成は、これまで以上に経費削減を徹底し、可能な限り支出を減らす方針です。

千葉 令和6年度予算を執行するにあたり、独立採算の原則に従えば、欠損金の圧縮に努める必要があると思うがどのような経営方針なのか伺う。

市長 当初予算の段階から営業費用などの支出を可能な限り減額したものとなっております。予算の執行にあたっては、収納対策や経費削減の徹底により、さらなる経営改善に努めていく。

千葉 収納対策の徹底とは具体的にどのようなことを考えているのか伺う。

市長 水道料金の一部を滞納している方がいるのが現状です。

負担の公平性を確保する観点からも、滞納者に対して給水停止措置を講じることも含めて、収納対策の強化をはかることで、収益の確保に努めてまいります。

未利用工業団地の活用促進について



荒井 周司



荒井 工業団地の未利用地を所有している企業へのヒアリングを実施すると市政執行方針で述べられ、関連予算が計上されているが、本件予算はどのような成果を期待されて計上されたのか伺う。

市長 本予算は、未利用地の活用促進を図るため計上したものであり、現所有企業が事業を実施するほか、新規大型事業や市内業者からの利用拡大の需要にも迅速に対応できる体制が構築されることを期待している。

荒井 現所有企業が貸付や売却の意向の場合、本市に活用可能な土地がある企業に知ってもらった活動も必要になってくると思うが、この予算で足りるのか伺う。

市長 企業誘致については、計画をあらかじめ立てながらこの予算で実行していく。状況に応じて企業訪問のほか、庁内でも様々な紹介、情報収集は絶えず行っていくので、こういう取り組みと連動させながら限られた予算の中で成果を上げられるように取り組んでいく。

第3回臨時市議会の報告

第3回臨時市議会（令和6年2月29日）を開催し、下記の議案について審議を行い、それぞれ原案のとおり可決いたしました。

- **議案第1号**
夕張市財政再生計画の変更について
- **議案第2号**
手数料条例の一部改正について

夕張市議会の情報はこちら



夕張市議会
ホームページ



夕張市議会
YouTubeチャンネル

夕張市議会だより編集委員会

委員長	工藤 政則
副委員長	櫻井 暁
委員	徳谷 康憲
委員	荒井 周司
委員	君島 孝夫
委員	千葉 勝
委員	高間 澄子

第2回定例市議会の予定

- 6月3日(月) 行政常任委員会 午後1時30分から
- 6月10日(月) 午前10時30分から初日
- 6月13日(木) 午前10時30分から2日目
- 6月14日(金) 午後6時30分から3日目（夜間議会）
- 6月21日(金) 午前10時30分から最終日

※日程は変更になる場合がありますので、市議会ホームページでご確認ください。